



G I G A スクール構想

校 長 五十嵐 圭一

さいたま市では、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する上で、今がまさに感染の流行を早期に終息させるために極めて重要な時期であることを踏まえ、3月2日(月)から3月13日(金)までの間、特別支援学校を除く全ての市立学校が臨時休業となります。保護者の皆様には急な対応をお願いすることとなり大変申し訳ありませんが、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

さて、3年生は、2月28日(金)、県公立高校の学力検査に臨みました。また、2日(月)には、一部の高校において面接や実技試験が実施されました。本年度の県内の中学校の卒業予定者は、63,095人。この内、2月25日現在、県内の全日制の県公立高校を希望する生徒は、41,393人。全日制の県公立高校の募集人員が36,880人(転編入入学者を除く)ですので、倍率は、1.12倍となり、前年度より0.04ポイント下がりました。9日(月)には、それぞれの高校において、入学許可候補者の発表が行われます。朗報を待ちたいと思います。

ところで、最近、教育界では、「G I G A スクール構想」が話題となっています。少々聞きなれない言葉ですが、「G I G A スクール構想」とは、令和元年12月に示された国の方針で、児童生徒一人1台端末、および高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想のことです。わかりやすく言うと、子どものころからICT環境になじむため、一人1台のパソコンを備えた学校のあり方を推進していく国の方針ということでしょうか。ちなみにG I G A (ギガ)とは、Global and Innovation Gateway for Allの略です。この構想の背景には、諸外国に比べ日本の学校のICTインフラ整備が大きく遅れている現実があるようです。そう遠くない将来、小・中学校の教室で、子どもたち一人ひとりが、それぞれ一台のパソコンを使って学習する姿が見られることになりそうです。このように、学びの姿が大きく変わることが予想されますが、このような時こそ忘れてはならないのは、パソコン等の情報機器の整備は、あくまでも手段であり、目的ではないということです。学校では、子どもたちに、情報機器を道具として使いこなす資質・能力をはぐくみ、より豊かな学びを実現していくことが重要と考えます。

最後になりましたが、この1年間、保護者、地域の皆様には、本校の教育活動に格段のご理解・ご協力を賜りましたこと心から感謝申し上げます。今後も、地域に根差し、保護者、地域の皆様から信頼される学校づくりを目指して教職員一丸となり取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。